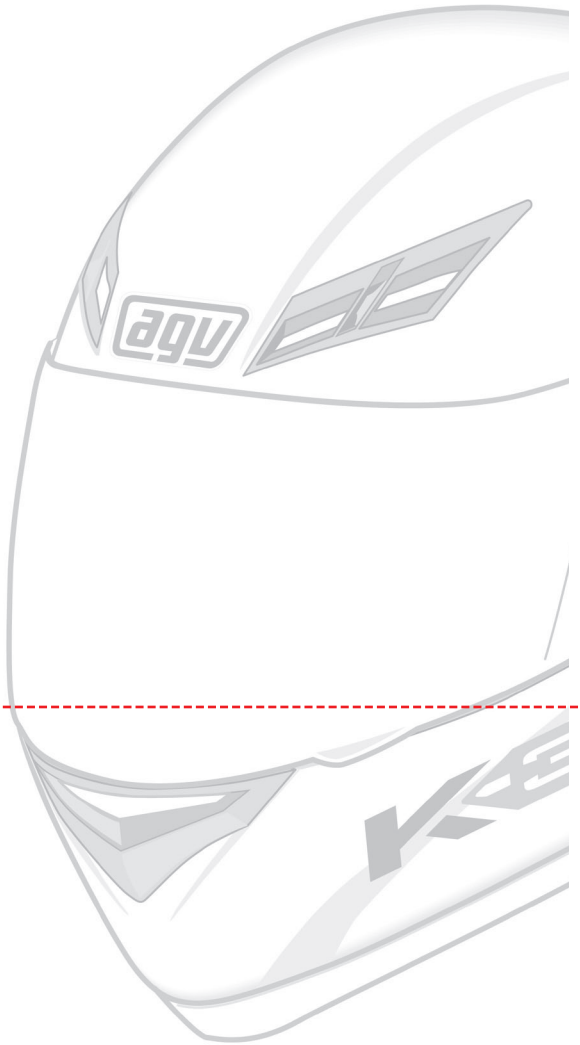
Owner Instructions

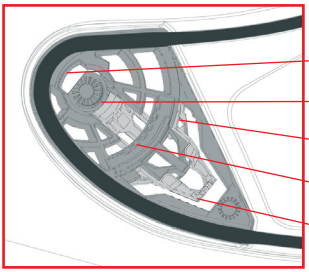


agv

日本語 2

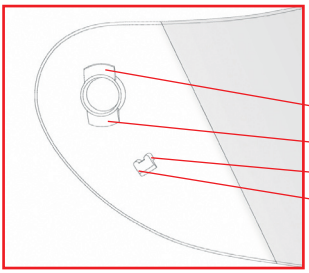
THIS HELMET'S SHELL IS MADE OF THERMOPLASTIC
THIS HELMET'S LINER IS MADE OF POLYSTIRENE (EPS)

1) シールド



1.1) シールドベースの構造

- 上部クラスプ(ツメ)収容部
- 下部クラスプ(ツメ)収容部1
- 下部クラスプ(ツメ)収容部2
- 可動ラチェットｷﾞｱ
- 着脱レバー

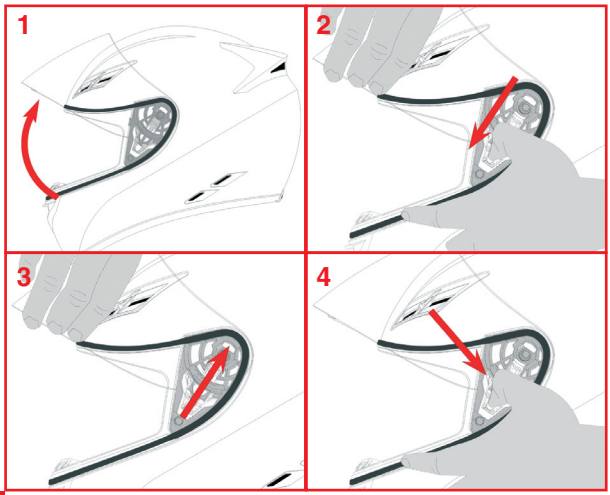


1.2) シールドの取り外し/取り付け

シールドは、傷の付きにくいポリカーボネート製で、ベースの可動ラチェットギアに適合するクラスプ(ツメ)があります。シールドのクラスプ(ツメ)は可動ラチェットギアと噛み合って、シールドをさまざまな位置で固定させることができます。

- 上部クラスプ(ツメ)
- 下部クラスプ(ツメ)1
- ラチェットの歯
- 下部クラスプ(ツメ)2

以下の作業は、ヘルメットを平らな場所に置いて行って下さい。

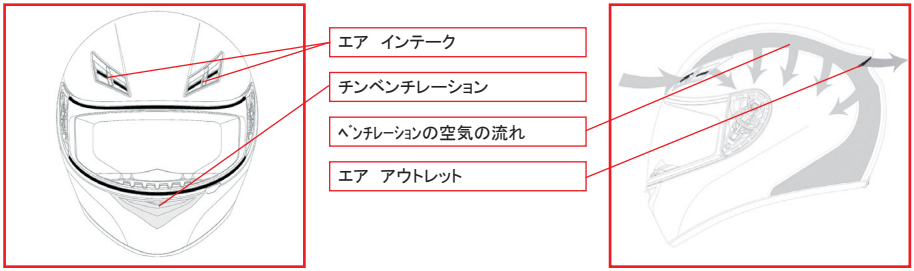


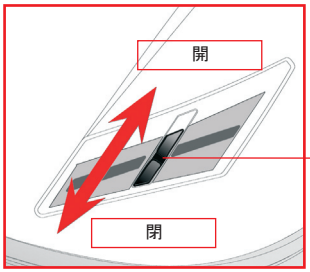
シールドを取り外すには、**シールドを完全に一番上まで上げて下さい**(1)。ヘルメットの片側から作業を始めます。着脱レバーを下げた状態で(2)、シールドの下部クラスプ(ツメ)2を引き出して取り外します。反対側も同じ作業をして取り外します。**取り外しは必ずシールドを一番上に上げた状態で、着脱レバーを下げて作業を行って下さい。無理に外そうとするとクラスプ(ツメ)が破損します。**

シールドを取り付けるには、ヘルメットの片方から作業を始めます。シールドを完全に一番上まで上げた位置で、着脱レバーを下げた状態で、上部クラスプ(ツメ)をシールドベースの上部クラスプ(ツメ)収容部に挿入します(3)。続いてシールドの下部クラスプ1及び2をそれぞれのクラスプ収容部に挿入します(必要に応じて着脱レバーを引き下げます)(4)。反対側も同じようにします。シールドを下げ、正常に作動するか確認します。

注意　ヘルメットの縁ゴムにシールドが完全にフィットしない場合は、シールドベースの位置を調整するか交換して下さい。この場合、AGVのサービスセンターにお問い合わせください。

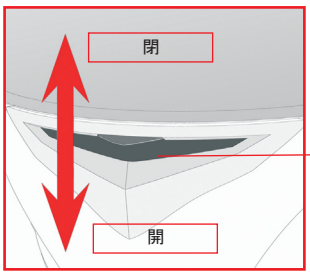
2) ベンチレーションシステム





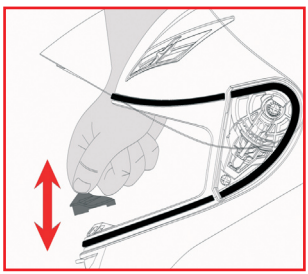
2.1) エア　インテークの開閉

エア　インテークを開閉するには、カチッと音がする所定位置までカーソルを移動させます。



2.2) チンベンチレーションの開閉

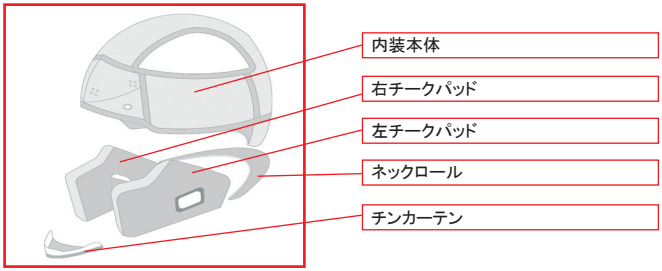
チンベンチレーションのレバーを上下方向に動かします。



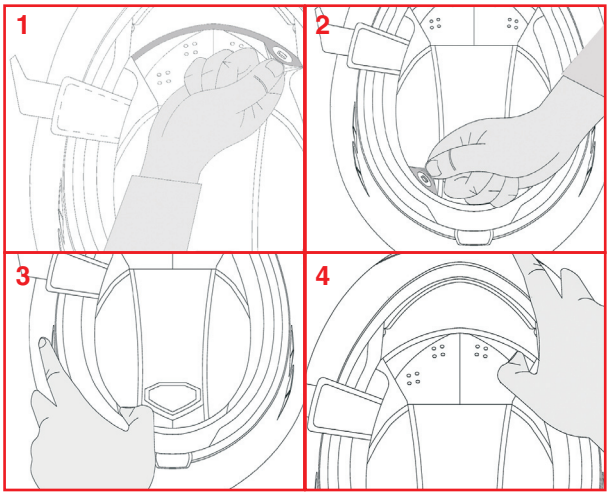
2.3) ノーズガード

ノーズガードは取り外しできます。収容部から慎重に引き出して下さい。取り付ける際は、プラスチックバンドを収容部に挿入し、固定されていることを確認します。

3) 内装



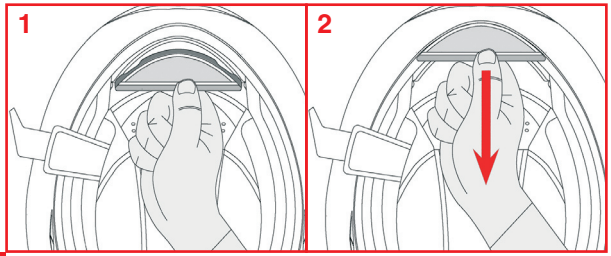
内装本体、左右チークパッドおよびチンカーテンは取り外して洗濯することができます。内装材の着脱は、以下の図を良く見て指示に従って行って下さい。洗濯方法については、「Safety Warning」パンフレットをお読みください。



3.1) 内装本体の着脱
内装本体を取り外すには、ヘルメット前面の2か所のプレススタッド(1)およびヘルメット後部の2か所のプレススタッド(2)を外し、取り出します。

注意：内装本体は、プレススタッドをすべて外してから引き抜いてください。完全に外さない状態で引き抜くと、プレススタッドや内装生地が壊れることがあります。

内装本体を元に戻すには、ヘルメット内部に挿入し、ヘルメット後部2か所のプレススタッド(3)およびヘルメット前面の2か所のプレススタッド(4)を所定位置にはめます。



3.2) チンカーテンの着脱
チンカーテンを取り付けるには、ヘルメット本体とあご部分の発泡スチロールの間にプラスチック部分を挿入します。

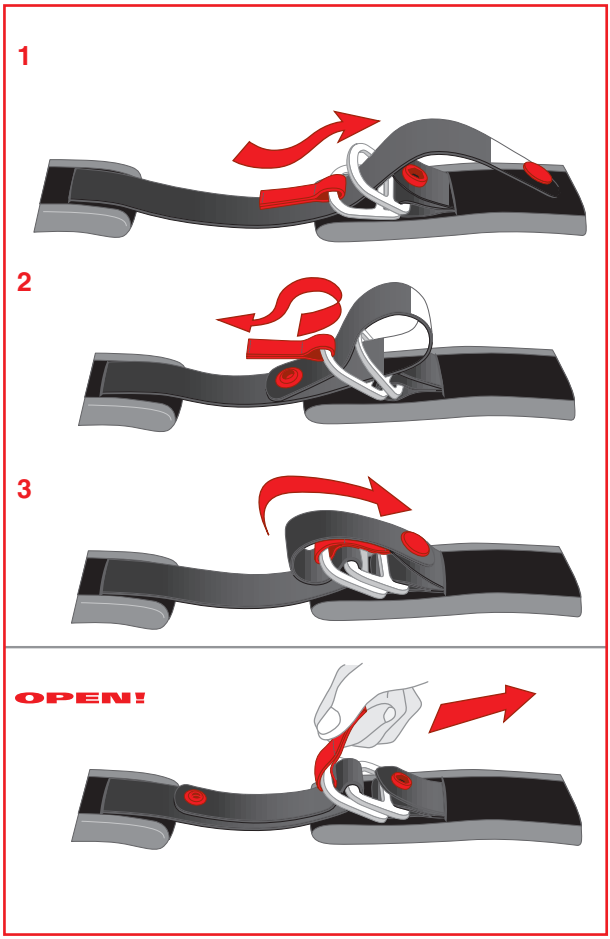
チンカーテンを取り外すには、外に向かって矢印の向きに引っ張ります。

チンカーテンを取り外すには、外に向かって矢印の向きに引っ張ります。

4) リテンションシステム（あごひも）

リテンションシステムは3タイプあります。
- **DD**
- **クイックリリースバックル**
- **マイクロメトリック調整**

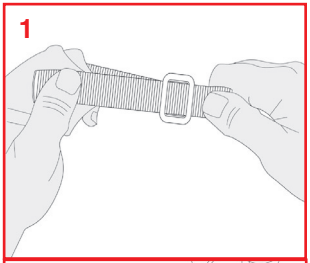
これら3タイプの使用方法を以下に示します。

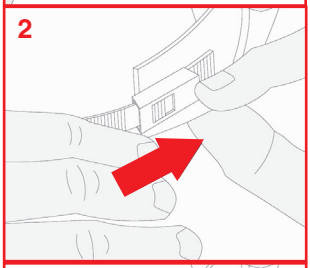


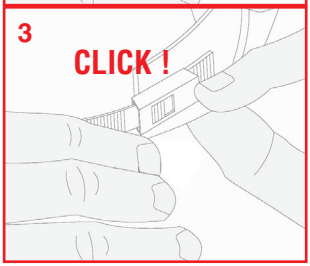
4.1) ダブルDリング
ヘルメットを固定するには、2つのDリング(1)にあご紐を差し込み、図2のように折り返します。顎の下であご紐(2)の端を引きあご紐を締めてください。そしてフラップ防止プレススタッド(3)を所定の位置でカチッと留めます。図参照。

ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい（小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください）。

ヘルメットを取り外すには、プレススタッドを外し赤いリボンを利用してあご紐を緩め、Dリングから外します。
図参照。





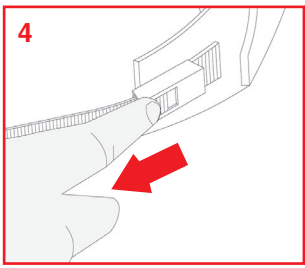


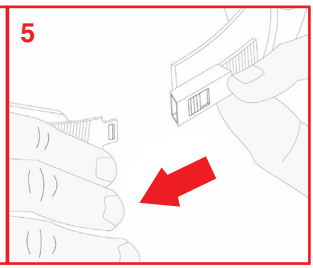
4.2) クイックリリース・バックル
クイックリリース・バックルでは、事前にあご紐の長さを調整する必要があります。

下図に従い、リング(1)を通過するあご紐部分を長くしたり短くしたりして、ヘルメットがしっかり固定されるようになるまであご紐の長さを調節します。

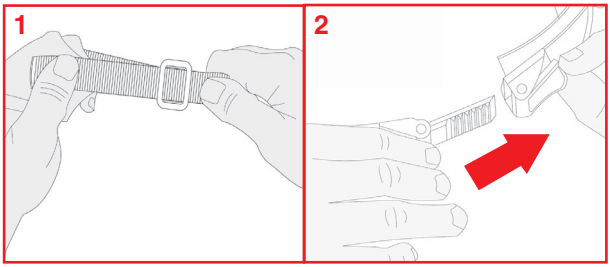
ヘルメットを固定するには、バックルを、リテンション機構(2)に差し込み、カチッと留めます(3)。

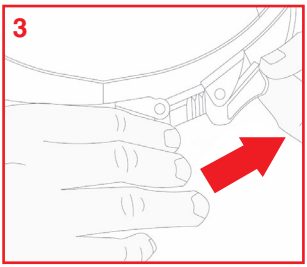
ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい(小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください)。





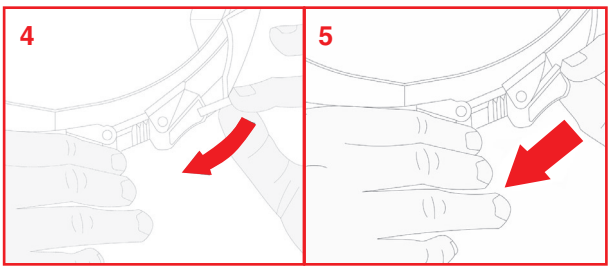
ヘルメットを取り外すには、赤いボタン(1)を使用して、リテンション機構を開き、次に、バックル(2)を開きます。4、5図参照。





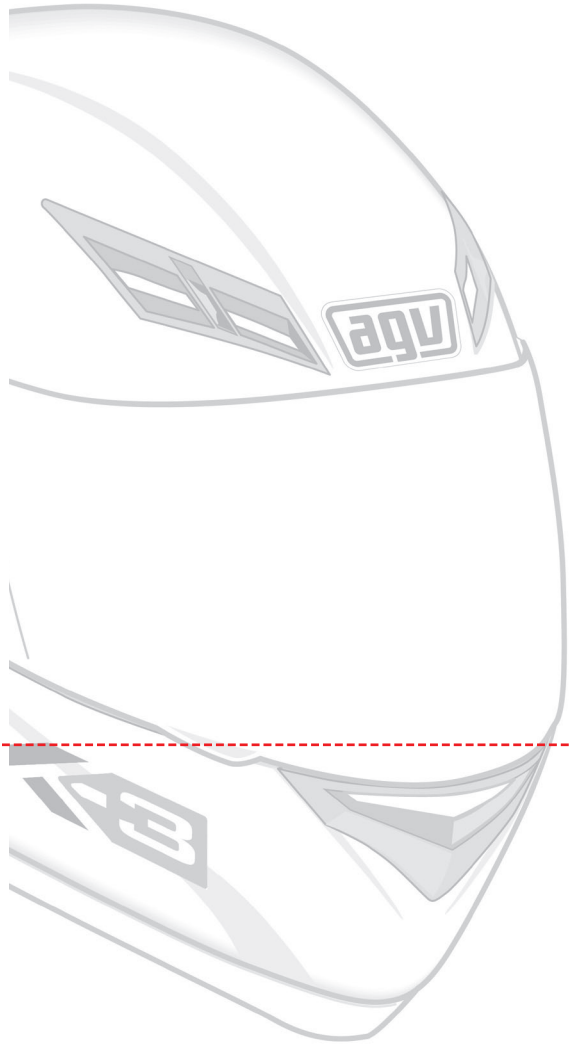
4.3) マイクロメトリック・バックル
マイクロメトリック・バックルでは、事前にあご紐の長さを調整する必要があります。

下図に従い、リングを通過するあご紐部分を長くしたり短くしたりして(1)、ヘルメットがしっかり固定されるようになるまであご紐の長さを調節します。
ヘルメットを固定するには、メタルバックルにセレーションタブを差し込み(2)、できる限り押し込んで(3)あご紐が下顎を押しつけるようにします。マイクロメトリック調節によって、セレーションタブ上で好きな番号位置を選択することができるため、より深く、正確に快適さを「キャリブレーション」することが可能です(タブはできるだけ深くバックルに挿入することが最も推奨されます)。
ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい(小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください)。



ヘルメットを取り外すには、リボンを用いて赤いレバーを持ち上げ(4)、次にバックルを外します(5)。参照。

注意:　リテンションシステム(あご紐)上に配置されたボタン／ベルクロは、留め具ではなく、余分なあご紐のバタツキを防止する為のものです。 これらを、ストラップを固定するための代用品として使用しないようにしてください。



AGV SpA
Strada Savonesa 12 - 15050 Rivalta Scrivia (AL) Italy
Phone +39 0131 853.011 Fax +39 0131 853090
www.agv.it - info@agv.it